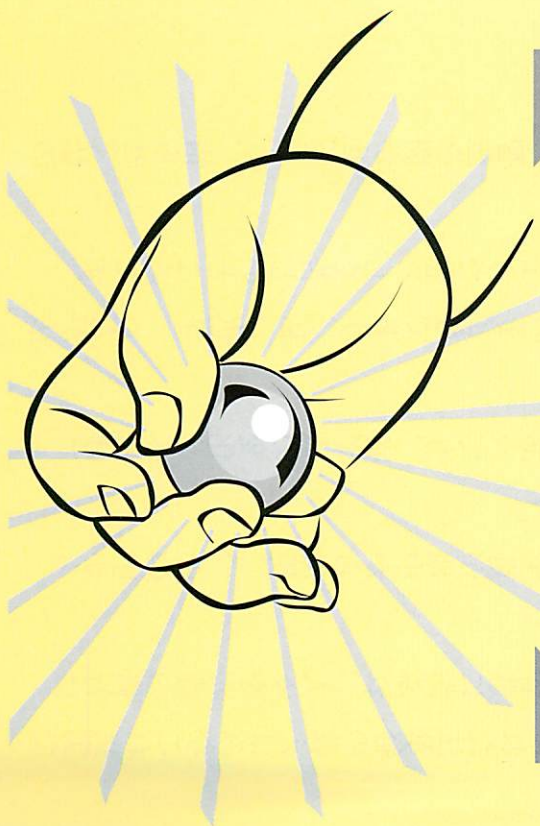


教養シリーズ ⑫

— 身近なみおしえ — その五

# 欲令衆

よく りよう しゅう



発行 日蓮宗広島県宗務所  
編集 日蓮宗広島県教化センター

Q 欲令衆って何ですか？

A 仏様の大慈大悲の御心が示されています。

Q 欲令衆はお経ですか？

A お経です。

漢文を日本語に読み下した訓読でよく読まれます。

Q 読み方の違う人を見かけますが。

A 地域によって読み方が若干違います。  
菩提寺にお参りして覚えましょう。

Q 菩提寺って何ですか？

A あなたの家のご先祖をお祀りし、  
正しい信仰を護り伝え弘めるお寺です。



## 欲令衆 よくりようじゅう

### 【欲令衆（抄訳）】

「私（釈尊）は、衆生（あなた）にそなわる仏の智慧を開かせ、示し、悟らせ、仏の道を歩ませるために、この世に姿を現しました。

この世界は、まるで燃えさかる家の中で暮らすような恐ろしく苦しいところです。そして、そこで生きる人々（衆生）はすべて私の子どもであり、私（釈尊）一人が法華経の教えによって救うことが出来るのです。

この法華経に縁ある人々は、どのような苦難にあつても、必ず仏の変化（へんげ）の人が現れて、護りたすけてくれることでしょう」

お釈迦様が慈悲の心を示されたとき、巨大な宝塔が地中から出現し、その中から真実を証明する仏・多宝如来の声が響き渡ります。

「善いかな、善いかな。この法華経は、平等の智慧にあふれ、人々を菩薩の修行に導き、仏の御加護がそなわっている。釈尊の説かれた法華経の教えはみなこれ真実である」

欲令衆は、『法華経』二十八品中の、「方便品第三」「譬喻品第三」「法師品第十」「見宝塔品第十一」の要文を抜粋して構成されています。『竜華秘書』によれば、日像上人が幼少の頃、晩年の日蓮大聖人から一々文々に欲令衆を訓じて教えられたとあります。

日蓮大聖人から日像上人へ、そして私たち一人ひとりへ。

親から子、子から孫へ。

「大切な宝の珠」を小さな掌（てのひら）につつませるように、お釈迦様の慈悲・「法華経の心」は、今を生きる私たちへと伝えられているのです。

